

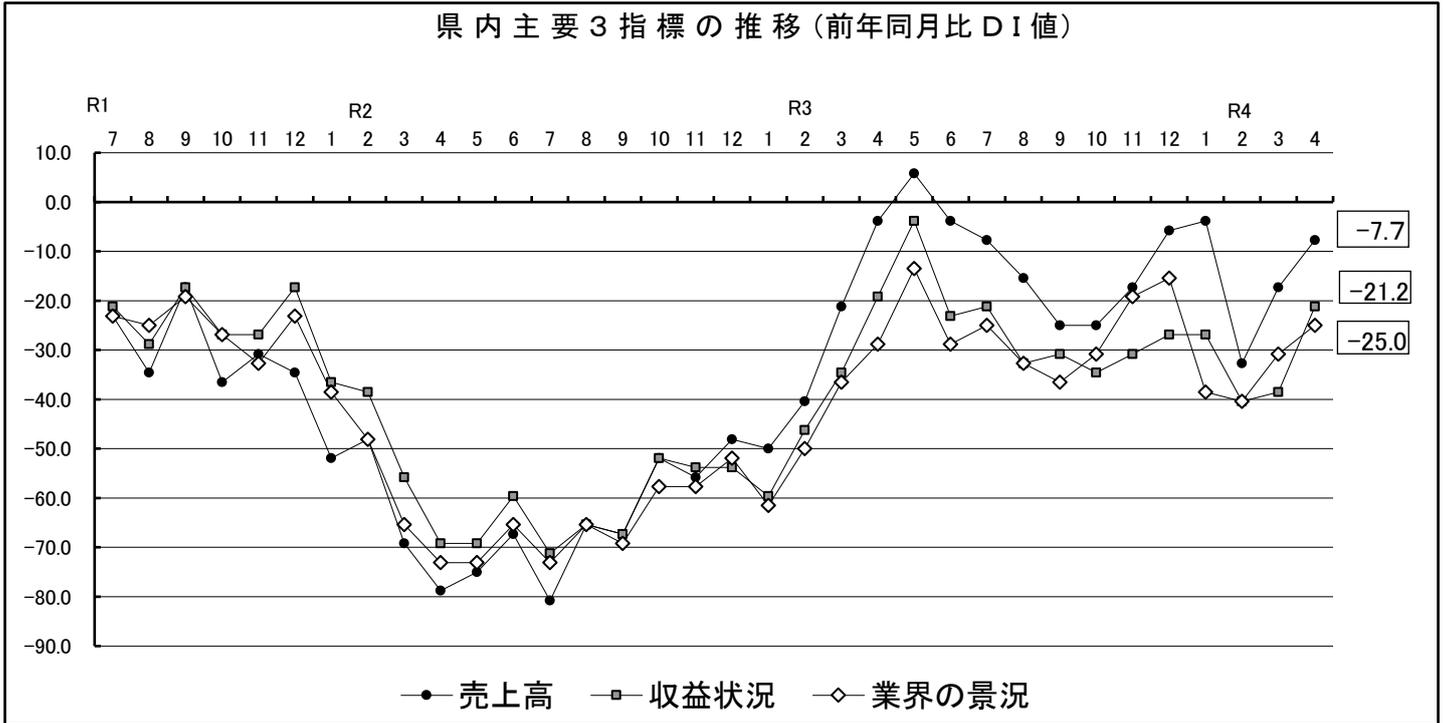
中小企業団体情報連絡員報告結果(令和4年4月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員52名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 主要3指標「売上高」「収益状況」「業界の景況」はすべて上昇した。
- 製造業で「一般機器」、非製造業で「小売業(飲食業含む)」「運輸業」が特に厳しい。
- 燃料・原材料高騰、円安、ウクライナ情勢などから、先行き不透明感が強まっている。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上高	-7.7	+9.6	-3.2	+9.9
収益状況	-21.2	+17.3	-28.7	+7.3
業界の景況	-25.0	+5.8	-24.7	+8.9

売上高

当月の県内売上高DI値は、前月より9.6ポイント上昇し、-7.7ポイントとなった。全国においては、前月より9.9ポイント上昇し、-3.2ポイントとなった。

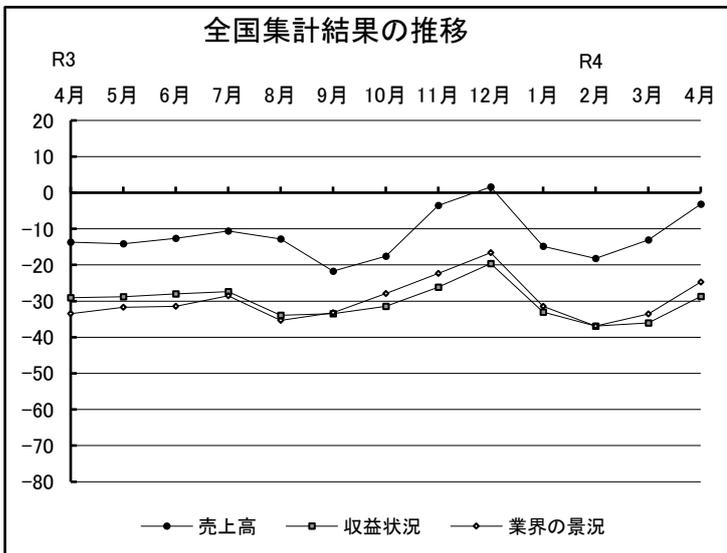
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より17.3ポイント上昇し、-21.2ポイントとなった。全国においては、前月より7.3ポイント上昇し、-28.7ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より5.8ポイント上昇し、-25.0ポイントとなった。全国においては、前月より8.9ポイント上昇し、-24.7ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

4月の前年同月比DI値は、前月と比べ9指標中7指標が上昇した。主要3指標は「売上高」は9.6ポイント上昇、「収益状況」は17.3ポイント上昇、「業界の景況」が5.8ポイント上昇となった。

業種別・指標別にみると、製造業全体では「一般機器」で「売上」が下降し厳しい。また、「木材・木製品」では依然としてウッドショックは高止まり傾向にある。ロシア産木材の不足による影響や多くの資材価格が著しく上昇しており、材料価格の高騰が製造原価を押し上げ、収益状況を悪化させている。「一般機器」においても、引き続き資材の高値安定、半導体不足等の影響や燃料の高騰により、収益状況は厳しい。非製造業においては、「小売業(飲食業含む)」「運輸業」で依然として厳しいマイナス状態が続いている。

まん延防止等重点措置の解除以降、経済活動再開への期待から徐々に景況感の改善が表れている。しかし、各業界からは、仕入単価が上昇した分を価格転嫁できないなどの声や、一部資材等の調達が困難な状況にあるとの報告が聞かれ、引き続き資材・燃料価格等の高止まりが経営を圧迫している状況がうかがえる。円安基調、ウクライナ情勢に感染再拡大への懸念も残っており、先行き不透明感が強まっている。

図表1 【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-50.0	0.0	25.0	-25.0	-50.0	-50.0	-25.0	0.0	-50.0
繊維・同製品	25.0	0.0	25.0	0.0	-50.0	0.0	-25.0	-25.0	-50.0
木材・木製品	25.0	0.0	100.0	0.0	25.0	-25.0	25.0	-25.0	-50.0
印刷	-100.0	0.0	0.0	0.0	-100.0	0.0	-100.0	-100.0	-100.0
窯業・土石	-25.0	-50.0	50.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	25.0	-25.0
鉄鋼・金属	25.0	-50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0
一般機器	-75.0	-25.0	25.0	-25.0	-75.0	-25.0	-50.0	-25.0	-50.0
製造業	-16.0	-20.0	40.0	-8.0	-28.0	-16.0	-20.0	-16.0	-40.0
卸売業	66.7	-33.3	0.0	33.3	33.3	0.0		0.0	66.7
小売業	-42.9	0.0	28.6	-28.6	-57.1	-28.6		0.0	-42.9
サービス業	16.7		16.7	0.0	16.7	0.0		0.0	16.7
建設業	20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	-50.0		0.0	-25.0	-50.0	-25.0		0.0	-100.0
その他	50.0		0.0	0.0	50.0	0.0		0.0	50.0
非製造業	0.0	-10.0	11.1	-7.4	-14.8	-11.1		0.0	-11.1
全体	-7.7	-17.1	25.0	-7.7	-21.2	-13.5	-20.0	-7.7	-25.0

図表2 【指標別DI値の推移】

	3年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年	2月	3月	4月	前月比
	4月									1月				
売上高	-3.8	5.8	-3.8	-7.7	-15.4	-25.0	-25.0	-17.3	-5.8	-3.8	-32.7	-17.3	-7.7	9.6
在庫数量	-20.0	-17.1	-14.3	-20.0	-17.1	-25.7	-8.6	-8.6	-20.0	-5.7	-8.6	-20.0	-17.1	2.9
販売価格	-3.8	3.8	-5.8	3.8	0.0	-3.8	3.8	5.8	11.5	9.6	15.4	21.2	25.0	3.8
取引条件	-9.6	-9.6	-15.4	-11.5	-13.5	-17.3	-11.5	-17.3	-9.6	-5.8	-5.8	-7.7	-7.7	0.0
収益状況	-19.2	-3.8	-23.1	-21.2	-32.7	-30.8	-34.6	-30.8	-26.9	-26.9	-40.4	-38.5	-21.2	17.3
資金繰り	-9.6	-13.5	-21.2	-15.4	-23.1	-23.1	-21.2	-15.4	-13.5	-15.4	-26.9	-21.2	-13.5	7.7
設備操業度	-12.0	12.0	0.0	4.0	0.0	0.0	-8.0	-16.0	-4.0	-8.0	-28.0	-12.0	-20.0	-8.0
雇用人員	-11.5	-11.5	-11.5	-5.8	-7.7	-5.8	-15.4	-9.6	-7.7	-11.5	-11.5	-5.8	-7.7	-1.9
業界の景況	-28.8	-13.5	-28.8	-25.0	-32.7	-36.5	-30.8	-19.2	-15.4	-38.5	-40.4	-30.8	-25.0	5.8

特記事項

情報連絡員報告（令和4年4月分）

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
食料品	和洋菓子製造業	原材料の高騰による、収益悪化が深刻である。また、電気料やガソリンなどの影響も大きい。
	あん類製造業	まん延防止が解除されたことによりやや上向きになっている。相変わらず輸入原料の入手が困難である。
繊維工業	縫製業	海外生産品がコロナ感染のため、国内へシフトしているので受注は満杯状況だが、当初の企画が海外生産予定だったので工賃が安く喜べない状況である。
	絹・レース・繊維粗製品製造業	ウクライナ問題、上海のロックダウン、円安等の外的要因の影響がもっと出てくるかと予想していたが、月毎の業績は昨年と同水準であった。今月から各地で観光客が賑わっている様子もあり期待している。組合内では、依然として受注内容は不透明で先行きは不安である。
木材・木製品	一般製材業	ウッドショックも高止まり傾向にあるが、ロシア産木材の不足による影響が8月以降に顕在化する懸念を有している。合板についてはコロナ前より3倍の値上がりとなっており高止まりの気配がない状態である。
	家具・建具製造業	季節要因による売上増加が一服している。木材に限らず様々な資材価格が著しく上昇しており、材料価格の高騰が製造原価を押し上げ、収益状況を悪化させている。
印刷	印刷業	需要が減る中で材料（インキ、版など）が値上がりしており、紙も値上がりしている。今年中には再度値上がりが予測される。
窯業・土石製品	石灰製造業	鉄鋼向けは、昨年並みの状況で推移している。 肥料関係は、価格変更の影響で減少気味である。 建材関係は、碎石、土質ともに工事物件の減少で若干減少した。
	陶磁器・同関連製品製造業	4月より原材料の値上げが絡み、組合員や焼物産の仕入れ増になった。まん延防止が明け、小売店にも賑わいが見られるようになっており、これからの期待している。
鉄鋼・金属	金属製品製造業	主力製品である鋼材価格の高騰が止まらない。コロナ以前の原材料価格の倍の単価となったが価格転嫁が追いついていない状況である。また、ガソリン値上がりにおける輸送費の高騰、電気料金、ガス、酸素などのエネルギー関係においても値上がり幅が大きく経費を圧迫している。
	金属製品製造業	原材料費・燃料費の高騰が続いており苦慮している。
一般機器	一般機械器具製造業	仕入れ資材の状況は相変わらず高値が続き一部調達が困難な状況も引き続き見受けられる。操業度（稼働）はほぼ前年同様の水準となっており、収益状況の改善がされた企業が多くなってきている。引き続き今後の新型コロナウイルスの感染状況や化石燃料の上昇等の懸念があり、不安はあるものの今後の動向に注視していく。
	一般機械器具製造業	半導体不足の影響・中国のロックダウン・急激な円安などが相まって景気は急降下している。
その他の製造業	化粧品卸売業	商材に関して、原材料不足による納期遅延が若干発生している。
卸売業	各種商品卸売業	一部業種を除き全体として売上高、業況等は前年同期に比べ好転となっている。また、各社とも仕入単価の上昇が今後懸念される。

小売業	食肉小売業	全ての食肉輸入品が、干ばつや急激な為替変動で輸入価格が高騰している。牛肉や鶏肉は30%値上がりしている上、円安で輸入コストもアップしている。
	花・植木小売業	徐々にイベントの開催も増え、小売りは少し上向いてきている。葬儀需要では、コロナ感染症対策を十分にした新しい形の会葬方法が主流になり、大型の葬儀も行われるようになったので供花の注文数も復活の兆しが見えてきた。婚礼需要については、いまだに戻ってきておらず婚礼シーズンでの売上獲得に不安を感じている花屋も多い。
サービス業	理容業	昨年は、新型コロナウイルスの影響により、来客数が減少し、収益面等で大きく影響を受けていたが、今年度は昨年と比較すると国からの行動制限が解除になり、少しずつ経済状況も良い方向に向かいつつある。
	旅館・ホテル	まん延防止措置が解除され徐々に宿泊者が増加傾向にある。(宴会)新型コロナウイルス感染拡大により100%ダウン。(飲食店)まん延防止措置の解除により客数は少しずつ戻ってきたが、コロナ前と比べると足りていない。
	給食センター	小麦粉・食用油・上白糖並びに冷凍食品等が軒なみ値上げ傾向にあり、業界では苦慮しているところが多い。また、同業者間の競争が激しいため販売価格に転嫁出来ず困っている。
建設業	総合工事業	年度末工期の工事が終了し、一部繰越工事を実施している組合員もいるが、手持ち工事のない組合員が存在することから、関係機関の早急な工事発注を望んでいる。
	職別工事業	売上高においては前年同月に対し約10%ほど伸びてはいるものの、業界全体として仕入単価が上昇しており、上昇分を販売単価に反映できない状況にあり、利幅の減少傾向が散見される。
運輸業	貨物自動車運送業	新型コロナウイルス感染、半導体不足により物量が減少し、それに加えて燃料価格の高騰で厳しい。また、荷主に対して増加したコストを価格へ転換することも難しい状況である。
	貨物軽自動車運送業	老人ホーム、ケアセンター、大手スーパーマーケットからのPCR検体配達が入り、それなりの売上につながり、少しずつではあるが製造業関連からの依頼も戻りつつある。
	一般乗用旅客自動車運送業	売上としては、コロナ禍以前の7割くらいに戻りつつあるが、稼働率は低迷している。